


ニュースレター第6号（2023年10月）

第2回 SATREPS 牛肉プロジェクト本邦研修（2023年10月）の経験 



コロンビア国：デジタルプラットフォームを活用したルーメン微生物フローラと草地管理の最適化による牛肉バリューチェーン創出プロジェクト



NAGOYA UNIVERSITY



AGROSAVIA
Corporación colombiana de investigación agropecuaria



10月17日～28日、コロンビア畜産連盟（FEDEGAN）6名、コロンビア農牧研究公社（AGROSAVIA）2名は、第2回本邦研修「日本の肉用牛生産システムと牛肉のサプライチェーン」に参加しました。コロンビアからの参加者は、名古屋大学と中部大学の教授らの同行の下、愛知県豊橋市、岐阜県飛騨市、熊本県阿蘇市を視察訪問しました。

最初の訪問先では、東三河食肉流通センターとJAあいち経済連豊橋ミートセンターを視察し、食肉産業について学びました。

2番目に訪問した和牛の生産農家では、肉用牛生産シ



ステムについて学びました。研修参加者らは、飛騨牛の生産者である田中さんに歓迎され、肉用牛の管理に関する貴重な

知見の共有を得ることが出来ました。

3番目の訪問先は、新幹線に乗って九州地方の熊本へと向かい、あか牛（褐毛和種）の生産農家を視察しました。あか牛は、美しい阿蘇地域の草原でストレスのない恵まれた環境で育てられ、肉質に良い影響を与え

ていると考えられています。研修参加者は、当地の gras-fed（牧草飼料）の管理体制につい



て、興味深く生産農家や阿蘇地域振興局の関係者らと

積極的な意見交換が行われました。また、熊本県畜産放牧研究所を訪問し、あか牛の歴史、特徴、生産、サプライチェーンについても学びました。



研修最終日、研修参加者らは東京を訪れ、JICA本部と駐日コロンビア大使館を表敬訪問し、本研修の視察を通じて学んだこと、印象に残ったこと、コロンビアとは異なる和牛のバリューチェーン等について、報告及び意見交換が行われました。



プロジェクト概要は、こちらのQR字コードから



JICA コロンビア支所 Facebook



Follow us